

7保医医安第556号
令和7年10月27日

各特別区保健衛生主管部長 殿
各保健所設置市保健衛生主管部長 殿

東京都保健医療局医療改革推進担当部長
杉下 由行
(公印省略)

令和7年度都内病院向け講習会の開催について

平素より東京都の保健医療行政に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

標記の件につきまして、下記のとおり開催いたしますので、御多忙の折、誠に恐れ入りますが、貴会関係者への周知について、よろしくお願い申し上げます。

また、東京都では、都内の医療安全確保対策を総合的に推進し、患者及び都民の医療に対する信頼を確保することを目的として「東京都医療安全支援センター（以下、センター）」を設置・運営しています。

このたび、センターの活動についてご紹介する資料を作成しましたので、合わせて共有いただけますと幸いです。

なお、都内各病院、公益社団法人東京都医師会、公益社団法人東京都歯科医師会へは別添のとおり案内しておりますことを申し添えます。

記

1 開催方法

東京都保健医療局医療政策部 YouTube にて限定公開による実施
(二次元コード及び URL からの視聴)

2 受講対象者

都内医療機関の管理者、従事者等（職種不問）

3 開催期間

令和7年11月1日（土）から同年11月30日（日）まで

4 講演

(1) 医療安全推進講習会

ア 講演1

「医療安全の文化醸成とナレッジマネジメント」

北里大学 医療安全推進室副室長・医療安全管理者 荒井 有美 氏

イ 講演 2

「医療機器安全管理責任者に必要な医療機器の基礎知識」

独立行政法人医薬品医療機器総合機構

医療機器安全対策・基準部 医療機器安全対策課 主任専門員 藤原 考壺 氏

調査専門員 田中 優佳 氏

調査専門員 矢野 美来 氏

ウ 講演 3

「立入検査の指摘事項の傾向及び医療安全対策に関する課題について」

東京都保健医療局医療政策部医療安全課 職員

(2) 病院管理講習会・患者相談窓口担当者講習会

「医療機関における暴力・カスタマーハラスメント対応」

慶応義塾大学健康マネジメント研究科 教授 前田 正一 氏

5 配布物

「都内病院向け講習会のご案内」

「都内医療機関で働く皆様へ 東京都医療安全支援センターのご案内」

問合せ先

東京都保健医療局医療政策部医療安全課指導担当

担 当 二ノ倉 井水 荻野 中村 坂本

電 話 03-5320-4432 (ダイヤル)

都内病院向け講習会のご案内



令和7年11月1日(土)▶ 11月30日(日)

配信期間内に二次元コードから視聴してください。



医療安全推進講習会 対象：医療安全推進担当者等

◆ 医療安全の文化醸成とナレッジマネジメント

インシデントレポートに対する抵抗感を乗り越え、「報告することが価値を生む文化」への転換を目指すには。

現場で得られる知識や経験を共有し活かしていくナレッジマネジメントの視点から、安全文化をどのように育てるかを考えます。

講師：北里大学 医療安全推進室 副室長・医療安全管理者 荒井 有美 氏



◆ 医療機器安全管理責任者に必要な医療機器の基礎知識

医療機器安全管理責任者が業務を行うにあたり必要な知識についてお話いただきます。

臨床工学技士を配置していない病院の方の受講を特にお勧めします。

講師：独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 医療機器安全対策・基準部

医療機器安全対策課 藤原 考壺 氏、田中 優佳 氏、矢野 美来 氏



◆ 立入検査の指摘事項の傾向及び医療安全対策に関する課題について

立入検査で指摘が多い項目や、検査のポイント、今年から運用開始となったe検査システムの使い方等についてお話します。

講師：東京都保健医療局医療政策部医療安全課職員

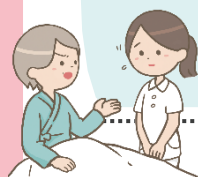


病院管理講習会・患者相談窓口担当者講習会 対象：病院管理者・患者相談窓口担当者等

◆ 医療機関における暴力・カスタマーハラスメント対応

令和7年4月に東京都で「カスタマーハラスメント防止条例」が制定されました。医療機関で、暴力やカスタマーハラスメントへどのような対応をしたらよいか、今回は、日頃の備えや発生時対応など、組織的対応のための基本知識についてお話いただきます。

講師：慶應義塾大学 健康マネジメント研究科 教授 前田 正一 氏



手話での受講を希望される方 S1150403@section.metro.tokyo.jp

東京都保健医療局医療政策部医療安全課内

東京都医療安全支援センター ☎ 03-5320-4432



都内病院で働く皆様へ

東京都 医療安全支援センターのご案内

東京都医療安全支援センター（以下、センター）では、安心して医療機関に係るための方法を一緒に考える「患者の声相談窓口」の運営や、医療機関向け講習会の実施、医療安全推進協議会の開催等を通じて、医療安全施策を推進しています。詳しくはホームページをご覧ください。

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/sodan/is_center



患者の声
相談窓口



医療機関
向け
講習会



医療安全
推進
協議会



「患者の声相談窓口」に寄せられる主な内容をご紹介します

相談者からの相談内容	「患者の声相談窓口」による対応内容
1) コミュニケーションに関すること ・ 検査をされたようだが説明がなかった。先生に聞くにも何と言って聞いたらいいかわからない。 ・ 病院職員の態度が悪かった。謝罪に誠意が感じられない。こんな病院を指導してほしい。	<p>・ 相談時には、どのような状況であったのか、ご自身の感情等を一緒に振り返ることや、どのようにしていきたいのか、を改めて考えていただく支援をします。</p> <p>・ 医療機関等への困り事は、当事者間での話し合いが原則になるため、相談者が自ら解決できるよう、対処方法の提案や助言等を行います。医師や看護師等に説明を求めるよう助言します。</p> <p>・ 指導を希望する場合は、指導してほしいと感じるほど困っている内容を確認し、対応方法を一緒に考えていきます。</p>
2) 医療行為、医療内容 ・ 救急外来を受診した際に、検査せずに異常なしと言われたが、痛みがおさまらない。誤診だ。 ・ 治療によって障害が出たので、病院に治療費や慰謝料を払ってもらいたい。	
3) 医療費 ・ 予約入院当日に、差額ベッド代が必要な部屋しかないと言われ、入院するには同意書に署名するしかなかった。支払いに納得できない。 ・ 病院を変ったら、医療費が前の倍になった。ぼったくりではないか。	
4) 入院・転院・退院に関すること ・ 手術してくれた医師に引き続き診てもらいたいが、転院を勧められている。どうしたらよいか。 ・ 3日後に退院するように言われた。高齢・単身であり、自宅に帰るのに不安がある。どうしたら良いか。	
5) 個人情報に関すること ・ 診断書に記載してほしい内容があるが、書いてもらえない。医師に書くよう指導してほしい。	
6) 医療機関の施設（清潔、安全管理等） ・ トイレが汚い。浴室にカビが生え、埃がたまっている。	